



2024年 8月の活動報告



韓国のエコ活動について

今回は、私が赴任していた「韓国のエコ活動」について報告したいと思います。

韓国に定着した「아나바다 (アナバダ)」活動があります。アナバダはいわゆるフリーマーケットのことで一年中さまざまな場所で開催されています。はじまりは1997年、IMF経済危機の翌年のこと。経済的な負担を少しでも軽くしようと、 unnecessary 出費を抑えることを目的とした活動でした。活動の合言葉だった『아껴쓰고 (アッキョスゴ) 나눠쓰고 (ナヌォスゴ) 바꿔쓰고 (パッコォスゴ) 다시쓰자 (タシスジャ)』、それぞれの頭文字を取って「아나바다 (アナバダ)」といいます。『大切に使って・分け合って使って・交換して使って・もう一度使おう』という意味です。エコ活動の3R「Reduce・Reuse・Recycle」に通じるものがあります。



衣類回収箱



「エコ活動」は大きく分けて3つのポイントにわけることができます。

①資源を大切にすること

韓国の人も生活のなかでさまざまな資源を消費しています。石油・石炭・天然ガスといった燃料から木材や水、大気など限りある資源を守る必要があります。

②ごみを減らすこと

プラスチックや可燃ゴミ、食品ロスなど生活から出るゴミの種類はさまざまですが、ゴミの分別によって環境負担を軽減することが可能です。リサイクルができるものは資源として再利用され焼却ゴミが減ることで温室効果ガスやダイオキシンなどの有害物質の排出量を減らすことができます。

③二酸化炭素 (CO₂)の排出量を減らすこと

ゴミを燃やしたり発電したりすることによって地球温暖化の要因になる温室効果ガスである二酸化炭素 (CO₂) が排出されます。ビニール袋ではなくエコバッグを使ったりエアコンの設定温度を省エネモードにしたりエネルギー消費量の少ないLED照明にすることで、二酸化炭素 (CO₂) の排出量を減らすことができます。

韓国ではさまざまな場所で아나바다 장터 (アナバダ チャント) と呼ばれるフリーマーケットが開催されていました。最近ではスマホによる번개장터 (ポンゲチャント) や당근마켓 (タンゲンマーケット) といったアプリを利用する人がほとんどです。日本でいうジモティーのようなアプリでユーザー同士がカカオトークなどでメッセージをやりとりし直接受け渡しをします。忙しくて手渡しの日時が決まらない場合は郵送も可能ですが、大半の方は直接受け取っています。私もアプリを利用して不要になった扇風機を出展したらその日に連絡が来て市内の方でしたので当日引き取りに来られた経験があります。また街中には衣類回収箱 (의류 수거함) が設置されています。黄色や緑、青といったカラフルな大きいボックスは不要になった服や靴、カバンなどを入れると「無料回収+リサイクル」をしてくれます。「ルミナス伝習寮」の向かい側に設置されていて私も不要になった冬用ジャケットなどを投入した経験があります。

韓国の宅配は「置き配」が基本

ちょっとびっくりした方法をとっていました。インターネット通販で物品を購入後、私のスマホに配達員から連絡が来て届けにくとのことだが留守にしていると伝えると「最寄りのGコンビニの保管場所に届けますから引き取ってくださいね」と言われた。あとで行ってみると確かに保管されていた。知らない人が自分の荷物を持っていける状況なのだが盗難によるトラブルはないという。何かあれば配達員と受取人の間で解決するらしい。その背景はコンビニにCCDカメラで録画されているため、抑止効果があると聞かれた。コンビニがない場合は、玄関扉前に「置き配」するという。ポイントは、配送トラックから出る二酸化炭素とドライバーの労力の軽減に寄与しているようです。



	内容	目標	当月実績	達成度合	判定	特記事項
節電	消費電力の削減	2,347.6 kwh/月	1,931.6 kwh	121.5%	達成	
節水	水道使用量削減	8.000 m ³ /月	7.535 m ³	106.2%	達成	
廃棄物処理	可燃ゴミ削減	19.00 Kg/月	7.51 Kg	253.0%	達成	
グリーン購入	グリーン購入品推進	80 %/月	100.0 %	125.0%	達成	
製品・サービス	省エネ省資源化の提案	3 件/月	6 件	200.0%	達成	